問 教育委員会管理課
☎476-1111(411・412)

家庭学習のすすめ

大崎町立持留小学校

校長　幸福　ひとみ　　教頭　住田　隆明

【児童数】２４名　【20 戸】

１年生	５名	４年生	４名
２年生	６名	５年生	１名
３年生	２名	６名生	６名

Ⅰ　家庭学習の手引きの活用

１　ねらい

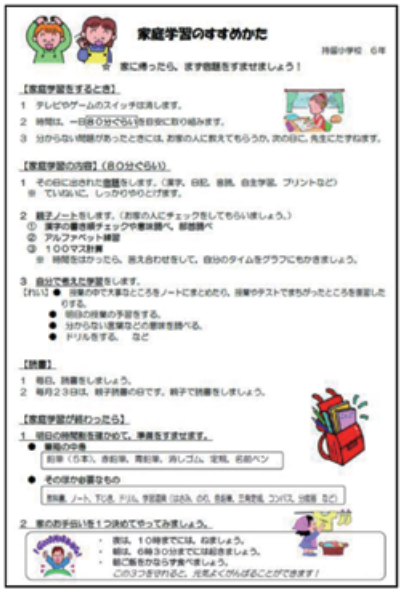
学校と家庭が連携しながら，発達段階に応じた家庭学習ができるようにする。

２　内容

【家庭学習をするときのきまり】
1　テレビやゲームのスイッチは消す。
2　学年×10 分＋20 分を目安に家庭学習に取り組む。

【家庭学習の内容】
1　宿題（漢字，日記，音読，自主学習，プリントなど）
2　親子ノート（必ずお家の人にチェックをしてもらう）
3　自分で考えた学習（宅習）
- 授業の中で大事なところをノートにまとめる。
- 授業やテストでまちがったところをやり直す。
- 明日の授業の予習をする。
- 分からない言葉の意味を調べる。
- ドリルをする。　など

【その他】
1　毎日読書をする。
2　家庭学習が終わったら，明日の準備をする。
3　10 時までには寝て６時 30 分には起きる。（６年生）



Ⅱ　親子ノート

１　ねらい

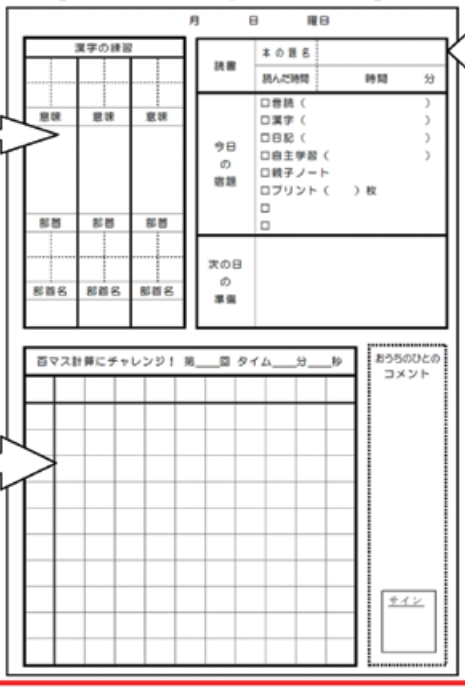
基礎学力の基盤をつくる。

２　内容

【「親子ノート」の内容↓】

漢字や漢字の部首名を正しく確実に覚えるために，毎回３文字の漢字（ひらがな・カタカナ）に取り組む。
漢字は書き順を唱えながら覚える。確実に覚えたと思ったら，書き順を唱えながら，親に指書きを見せる。親は漢字ドリルを活用し，正しい書き順で書けているかをチェックする。

正確性とスピードを育成するため，四則計算（＋・－・×・÷）のマス計算に取り組む。出題数は，学年に応じて異なる。
目標をもち，集中して取り組めるように，毎回計算のタイムを計り，グラフのページに記入する。慣れてくると，子ども自身でできるようになるが，子どもの意欲を高めるために，ときには親が，時間を計測したり，計算が正しいかをチェックしたりする。



学力の基盤と豊かな心を育むために，毎日読書に取り組む。
読んだ本の名前と読んだ時間を書く。
読書に親しむ習慣づくりのために，親に余裕があるときや読書週間のときには，親子で読み聞かせをしたり，読んだ本の感想を交流したりする。

子どもの感想
- 漢字を正しく覚えられるようになった。
- マス計算に取り組んでいるおかげで速く計算できるようになった。